

令和元年度 第3回 防災委員会議事録

開催日時 : 令和元年11月16日(土) 14:00~17:00

開催場所 : 九州本部会議室

参加者 : 味澤泰夫・荒川直樹・石本俊亮・香月裕宣・後藤進・中田敦也・西井康浩・南嶋佳典・
持田拓児・久富浩明・宮本修

欠席者 : 池田圭一・梅田和久・箴島秀利・矢ヶ部秀美・寺田利博・江口友弘・西瀬和之

議事内容 :

1. 防災委員による発表と質疑

講師 : 後藤 進 氏 福岡管区気象台地震火山課火山活動評価官

(主な内容)

- ・総務省(内閣府)主導で警戒レベルの運用が本年度より始まった。
- ・気象台の防災情報の方針が雨量ではなく災害の危険度の予報へと転換した。
(土砂・浸水・洪水の危険度分布、特別警報)
- ・気象庁では危険度の表記を色(紫、薄紫、赤、黄色の4段階)で視覚的に行うようになった。
- ・警報級の可能性を発表するようになった。(空振りを恐れずに)
- ・今年から導入された5段階の警戒レベル(総務省)と各機関が発表する防災情報との間に誤解を招くレベル表記があるため混乱が生じている。

2. 前回の議事録確認と工程案について

3. 技術士会員向けの平常時・発災後アンケート作成

- ・できるだけ多くの分野の技術士に協力をお願いしたいため、あいさつ文に21部門の技術士に訴える案内文とする。
- ・アンケート案の(3)⑤と3(1)⑦にその他の項目を入れる。
- ・士業とは技術士を含む12士業とする。(他士業と表記する場合は技術士以外の11士業団体である)
- ・アンケートは本年12月までに発信・回収、来年2月までに取りまとめを目指す。
- ・アンケート文および項目作成、会員への発信、とりまとめは本日の委員会議事を参考に会員向けアンケートグループに一任する。

4. 自治体向けのアンケート作成

- ・会員向けアンケートの回収状況とりまとめ状況を考慮し、平成2年4月以降にアンケートを実施する。

5. 行政担当者へのヒアリング結果報告

下関市（西井委員）、直方市（香月委員）

- ・技術士の災害時の対応として、発災前対応に対する認識が得られた。
- ・防災に関する研修会等の講師派遣について、登録講師や技術士会会員から紹介できることを承知いただいた。
- ・自治体BCPに対して、技術士会でもチェックできる可能性があることを承知いただいた。
- ・防災委員の人脈で可能であれば行政担当者へのヒアリング（非公式）を実施し、自治体の要望などを踏まえてアンケート内容の参考とする。
- ・自治体アンケートとしては有効だが、ヒアリングを実施している事について、本部長と事務局局長に委員長より報告を行う。
- ・自治体向け「アンケート (案)」の前書きで、『——九州地方整備局と——連携を図るべく——』は、現段階では削除することが良いと判断する。

6. 会則の作成

- ・次回委員会までに会則案に対する修正事項などを各委員検討しておくこと。

7. その他報告事項等

●講師派遣者リストの追加・整備

- ・講師派遣者リストで7番目の末次大輔先生は、現在宮崎大学教授に修正する。
- ・今後も講師派遣者リストを整備していくため、各委員は講師として依頼できる方を随時委員長へ報告し更新する。

●10/5（土）～10/6（日）全国大会徳島について委員長より報告があった。

●各県支部防災委員との調整に関して

- ・県支部の防災担当については、今年度及び次年度は拡大委員会を年1回以上開催する方向で調整し、各県支部防災委員との連携を図る。参加して頂く場合の交通費については、各県支部の負担として依頼を行う。

●統括本部防災支援委員会「災害プラットフォーム」について委員長より紹介があった。

●「第2回 被災者支援制度研究会」は、12/10（火）18時～福岡県弁護士会館で開催 香月防災委員がコーディネーターとして「ワークショップ」を行う。

●次回の防災委員による発表は箴島委員が担当（予定）する。

●次回の第4回防災委員会は、令和2年2月29日（土）14時～17時 技術士会会議室で行う。

以上（R1. 11. 21、宮本 修 記載）